



Title	シングルマザーの「貧困観」 : 母子生活支援施設利用者への調査結果報告
Author(s)	岩田, 美香; IWATA, Mika
Citation	教育福祉研究, 13, 75-90
Issue Date	2007-03-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/21521
Type	departmental bulletin paper
File Information	IWATA.pdf



シングルマザーの「貧困観」 —母子生活支援施設利用者への調査結果報告—

岩田 美香

1. 調査の概要

(1) 調査の目的と位置づけ

この調査研究は、日本人が一般にもつ「貧困」に対する意識や考え方を明らかにすることを目的としている、文部科学省科学研究費補助金「現代日本の『貧困観』に関する実証的研究—アメリカの研究動向との対比の中で」(研究代表：青木紀・北海道大学教育学研究科教授)に基づく、2004～2007年までの4年間続く日米共同調査研究の一部分に位置している。この一連の研究では、様々な地域において様々な立場にある日本人の「貧困観」を分析しているが、それは調査依頼の鏡文に記してあるように「『貧困観』(そのイメージ・考え方・認識)そのものが、これからの日本社会はどんな社会福祉を目指して進むべきか、といった課題と深く関わっており、一人ひとりの「貧困」に関する意識や態度などが、今後のわが国の国民生活や社会のあり方を左右する面をもっていると考えから」である。

本稿では、その中でもシングルマザーの「貧困観」についての基礎資料を提供するために、母子生活支援施設利用者への調査をもとに報告する。

(2) 調査の手続き

アンケート用紙の配布は、A・B・C地域において、調査協力の承諾をいただいた施設から利用者へ、返信用の封筒とともに配布してもらった。解答は、各利用者が任意で行い、各自が郵送によって返信した。

(3) 調査の対象と実施期間

A地域：A地域内の9母子生活支援施設利用者161人に配布し、62票を回収した(回収

率38.5%)。期間は2006年6月に実施した。

B地域：B地域内の18母子生活支援施設利用者281人に配布し、101票を回収した(回収率35.9%)。期間は2006年11～12月に実施した。

C地域：C地域内の5母子生活支援施設利用者85人に配布し、41票を回収した(回収率48.2%)。期間は2006年12月に実施した。

なお、A地域とC地域は一都道府県単位であり、B地域は複数の県を含むブロック単位である。

(4) 調査内容

被調査者の属性(年齢・学歴・勤務形態・世帯年収・健康状態)、貧困のイメージ、貧困にある生活、身近な問題としての貧困、貧困の経験、貧困の原因、貧困からの抜けだすための考え方、生活保護制度に関する評価など。

2. 調査結果

(1) 被調査者の属性

被調査者の属性は、年齢では、どの地域も30歳代が半数を超えており、A・Bの地域では40歳代がそれに次いでいる(表1)。また母親自身の最終学歴では、いずれも「高校卒業」が半数を超えており、さらにA地域では「短大・専門学校卒業」も2割を超えている。しかし一方で、「中学卒業」+「高校中退」も、A・B・C地域でそれぞれ、21.0%、20.8%、24.4%と、いずれも2割を超えている(表2)。そうした学歴も影響しているのか、彼女たちの勤務形態は「常勤雇用」が2割前後であり、母子生活支援施設利用者だけに限らない母子世帯の

全国平均 39.2%（平成 15 年度全国母子世帯等調査結果報告）と比べても低く、不安定な就労状況にある（表 3）。その結果、世帯年収も「答えたくない」「わからない」「N. A.」も全体母数に含めて出した割合でも、「200 万円未満」で、それぞれ 74.1%、79.2%、70.7%であり、全国母子世帯平均である 224 万 6 千円（平成 15 年度全国母子世帯等調査結果報告）よりも下回っている。さらに「300 万円未満」では、いずれの地域も 8 割の高さとなっている（表 4）。健康状態では、3～4 割が「ふつう」と回答する一方で、2 割が「あまりよくない」、さらに B 地域では 1 割以上が「とてもよくない」と回答している（表 5）。

表 1 年齢

	A 地域	B 地域	C 地域
～20 歳	0.0%	0.0%	2.4%
20～39 歳	17.7%	7.9%	14.6%
30～39 歳	51.6%	50.5%	58.5%
40～49 歳	29.0%	35.6%	12.2%
50～59 歳	1.6%	5.9%	7.3%
N. A.	0.0%	0.0%	4.9%
合 計	62	101	41

表 2 最終学歴

	A 地域	B 地域	C 地域
中学卒業	9.7%	7.9%	9.8%
高校中退	11.3%	12.9%	14.6%
高校卒業	56.5%	64.4%	53.7%
短大・専門学校卒業	21.0%	14.9%	17.1%
大学卒業	1.6%	0.0%	2.4%
N. A.	0.0%	0.0%	2.4%
回 答 数	62	101	41

表 3 勤務形態

	A 地域	B 地域	C 地域
常勤雇用	17.7%	15.8%	22.0%
パート・契約・フリーター	56.5%	63.4%	56.1%
無職	19.4%	15.8%	14.6%
その他	4.8%	5.0%	4.9%
N. A.	1.6%	0.0%	2.4%
回 答 数	62	101	41

◎表 3 「その他」の回答

A 地域：個人事業主、求職中。

B 地域：小規模作業所、生活保護受給者、療養中、内職、障害年金を受けている。

C 地域：正社員。

表 4 世帯収入

	A 地域	B 地域	C 地域
～100 万円未満	30.6%	30.7%	24.4%
100～200 万円未満	43.5%	48.5%	46.3%
200～300 万円未満	6.5%	5.0%	7.3%
300～400 万円未満	1.6%	0.0%	4.9%
400 万円以上	3.2%	1.0%	0.0%
答えたくない	6.5%	11.9%	2.4%
わからない	6.5%	3.0%	12.2%
N. A.	1.6%	0.0%	2.4%
回 答 数	62	101	41

表 5 健康状態

	A 地域	B 地域	C 地域
とてもよい	9.7%	8.9%	14.6%
よい	25.8%	14.9%	26.8%
ふつう	38.7%	39.6%	34.1%
あまりよくない	22.6%	23.8%	17.1%
とてもよくない	3.2%	12.9%	4.9%
N. A.	0.0%	0.0%	2.4%
合 計	62	101	41

（2）貧困のイメージと貧困の生活

「貧困」と言う言葉からは、表 6 にあるように「途上国や戦災国」が 8 割前後、「戦前や敗戦後」が 6～8 割と、やはり「遠くの」・「昔の」貧困がイメージしやすいと思われる。しかし、「ホームレス」や「過去や現在の自分の生活」についても半数近くが「貧困」という言葉と結びつけてイメージしている。

表6 貧困のイメージ

	A地域				B地域				C地域			
	はい	いいえ	N. A.	回答数	はい	いいえ	N. A.	回答数	はい	いいえ	N. A.	回答数
ア) 戦前や戦直後に多く見られた日本の生活	80.6%	12.9%	6.5%	62	69.3%	21.8%	8.9%	101	56.1%	34.1%	9.8%	41
イ) ホームレスの人々の生活	54.8%	33.9%	11.3%	62	56.4%	36.6%	6.9%	101	53.7%	41.5%	4.9%	41
ウ) 生活保護世帯の生活	25.8%	64.5%	9.7%	62	30.7%	55.4%	13.9%	101	14.6%	78.0%	7.3%	41
エ) テレビや新聞等で知る途上国や戦災国の生活	85.5%	6.5%	8.1%	62	79.2%	12.9%	7.9%	101	87.8%	9.8%	2.4%	41
オ) 過去あるいは現在の自分自身の生活	33.9%	56.5%	9.7%	62	45.5%	43.6%	10.9%	101	51.2%	41.5%	7.3%	41
カ) 「清貧の思想」「名もなく貧しく美しく」といった生き方	14.5%	71.0%	14.5%	62	11.9%	74.3%	13.9%	101	12.2%	78.0%	9.8%	41

◎表6 「その他」の回答

A地域：

- ・北朝鮮。失業者。心から信頼できる人がいない。ひろいぐい。サラ金苦生活。
- ・物質的な貧困なのか精神的な貧困かと思えます。心の貧困。失業。
- ・「世界がもしも100人の村だったら」の話に出てくる子供達。
- ・子供・女に暴力をふるう大人。3食きちんと食べるのもままならない状態。
- ・お金が無い。仕事が無い。心にゆとりが無い。
- ・病気になっても病院に行けない食事をとれない等。
- ・思い浮かばない。

B地域：

- ・お金がなく何も買えないつらさ。体に障害のある人。
- ・1日1日が一生懸命に生きているので「貧困」と思っている暇がない。
- ・子供時代と現在、生活保護を受けている。卑屈・暗い。
- ・今の日本社会での日本人の心。心の貧困、うつ病になってしまっている私。
- ・真面目に働こうと思っているのに働けず、働いているのに安い賃金のためその日暮らして生活している場合。
- ・空腹感のある時、食べたいと思うものが買えず食べれない時。
- ・借金で生活費に支障を来たす程の生活。経済的に貧しく心も病んでいる。
- ・借金生活、ローンを払うのに借りるとかです。
- ・貧困とは心の問題、貧しくても困っていなければ貧困には陥らない。赤ん坊が貧困で死ぬなど、死に面している場合をいうと思う。
- ・お金がない。三度の食事が摂れない状態。心のまずしさ。
- ・貧困とは、貧しさに（食べ物にも）困っての事ではないのですか？
- ・生活保護は金銭面の貧しさは無い、貧困とは思わない。
- ・ひとり暮らしで何日もたってから死んで発見される…（餓死・病死）。
- ・今のこの国で上と下の生活水準の激しいこと。特にわからない。

C地域：

- ・TVのニュース…生活保護を受けずに餓死していた。
- ・飢えて食べ物、生活に困っている人達。昔の自分の生活が思い浮かぶ。

さらに、「貧困」を具体的な生活場面についてたずねてみると（表7）、「生活面」では「水道・ガス」「暖房設備」「食生活」「緊急時のための貯蓄」「医療機関」などのライフラインが利用できなかったり、不十分であることを「貧困」であるととらえている。しかし「学業・仕事」に関する項目では、いずれも「貧困」との関連でとらえることは少なく、「安定した仕事をもっていない」や「読み

書きに不自由がある」で25%前後である。「社会関係」については、A地域とC地域において、「生きがいを感じられない」生活や「他人から言われたままに生きている」生活が「貧困である」と4割前後が回答しているが、他は貧困との関連ではとらえられていない。

表7 現代社会における貧困の具体的な状態

	A地域					B地域					C地域				
	貧困である	貧困ではない	わからない	N. A.	回答数	貧困である	貧困ではない	わからない	N. A.	回答数	貧困である	貧困ではない	わからない	N. A.	回答数
ア) 水道や電気及びガスが利用できない	74.2%	16.1%	9.7%	0.0%	62	78.2%	13.9%	7.9%	0.0%	101	75.6%	14.6%	7.3%	2.4%	41
イ) 住宅に暖房設備がない	64.5%	19.4%	16.1%	0.0%	62	56.4%	29.7%	13.9%	0.0%	101	51.2%	39.0%	9.8%	0.0%	41
ウ) 住宅にお風呂がない	50.0%	32.3%	17.7%	0.0%	62	47.5%	42.6%	9.9%	0.0%	101	41.5%	43.9%	12.2%	2.4%	41
エ) 人生の大半を施設で生活している	14.5%	56.5%	27.4%	1.6%	62	23.8%	44.6%	31.7%	0.0%	101	12.2%	63.4%	22.0%	2.4%	41
オ) 健康的な食生活ができない	64.5%	22.6%	12.9%	0.0%	62	65.3%	21.8%	11.9%	1.0%	101	51.2%	29.3%	19.5%	0.0%	41
カ) 家族に利用できる車がない	6.5%	80.6%	12.9%	0.0%	62	12.9%	75.2%	11.9%	0.0%	101	12.2%	82.9%	4.9%	0.0%	41
キ) 1年に1度のレジャーや旅行もできないほど金銭的余裕がない	32.3%	54.8%	11.3%	1.6%	62	38.6%	49.5%	11.9%	0.0%	101	24.4%	56.1%	17.1%	2.4%	41
ク) 緊急時に必要な最低限の貯蓄がない	59.7%	25.8%	14.5%	0.0%	62	52.5%	33.7%	12.9%	1.0%	101	43.9%	36.6%	19.5%	0.0%	41
ケ) サラ金などからお金を借りて生活している	37.1%	37.1%	25.8%	0.0%	62	36.6%	43.6%	19.8%	0.0%	101	41.5%	48.8%	9.8%	0.0%	41
コ) 医療機関に必要なときにかかれぬ	90.3%	3.2%	6.5%	0.0%	62	76.2%	11.9%	11.9%	0.0%	101	75.6%	12.2%	12.2%	0.0%	41
サ) 社会福祉サービスを必要ときに受けられない	62.9%	19.4%	17.7%	0.0%	62	41.6%	28.7%	27.7%	2.0%	101	34.1%	36.6%	29.3%	0.0%	41
シ) 大きな身体的・精神的・知的障害をもって生活している	9.7%	66.1%	24.2%	0.0%	62	17.8%	57.4%	23.8%	1.0%	101	14.6%	70.7%	14.6%	0.0%	41
ス) 若者が高校を卒業していない	12.9%	66.1%	21.0%	0.0%	62	8.9%	71.3%	18.8%	1.0%	101	7.3%	75.6%	17.1%	0.0%	41
セ) 読み書きに不自由がある	25.8%	54.8%	19.4%	0.0%	62	21.8%	55.4%	20.8%	2.0%	101	26.8%	61.0%	12.2%	0.0%	41
ソ) 安定した仕事を持っていない	24.2%	58.1%	17.7%	0.0%	62	27.7%	55.4%	15.8%	1.0%	101	29.3%	65.9%	4.9%	0.0%	41
タ) 生活保護で生活している	16.1%	66.1%	17.7%	0.0%	62	24.8%	58.4%	15.8%	1.0%	101	17.1%	65.9%	17.1%	0.0%	41
チ) とおり近所とよい関係にない	19.4%	53.2%	27.4%	0.0%	62	10.9%	64.4%	23.8%	1.0%	101	22.0%	58.5%	19.5%	0.0%	41
ツ) 友人や家族と外出を楽しむ機会がない	29.0%	51.6%	17.7%	1.6%	62	20.8%	58.4%	19.8%	1.0%	101	22.0%	58.5%	19.5%	0.0%	41
テ) 生きがいを感じられない	41.9%	41.9%	16.1%	0.0%	62	25.7%	56.4%	14.9%	3.0%	101	34.1%	58.5%	2.4%	4.9%	41
ト) 他人や社会に役立つことができていない	16.1%	56.5%	27.4%	0.0%	62	12.9%	64.4%	20.8%	2.0%	101	26.8%	58.5%	14.6%	0.0%	41
ナ) 他者や社会から認められていない	24.2%	50.0%	25.8%	0.0%	62	19.8%	59.4%	18.8%	2.0%	101	19.5%	56.1%	24.4%	0.0%	41
ニ) 社会あるいは地域とほとんどつながりがない	27.4%	53.2%	17.7%	1.6%	62	16.8%	60.4%	20.8%	2.0%	101	26.8%	58.5%	14.6%	0.0%	41
ヌ) 他人から言われたままに生活している	33.9%	50.0%	16.1%	0.0%	62	19.8%	53.5%	23.8%	3.0%	101	39.0%	48.8%	9.8%	2.4%	41
ネ) 外国人が不法滞在者として生活している	27.4%	35.5%	37.1%	0.0%	62	27.7%	38.6%	30.7%	3.0%	101	26.8%	46.3%	26.8%	0.0%	41

A地域：オ) 粗食の方が健康かも…

ケ) 今まで、ハデな生活をしてきたからかも… (生活の為の借り入れではない)。

シ) 私自身、うつ病をもって、7ヵ月の子を育てています。でも、心は豊かです。

ス) 行きたくても行けなかった人は、貧困かも。

タ) 私よりお金の使い方がすごい受給者もいる。

タ) 私も保護を受けたいと思っています。

テ) 心が貧しいかもしれない。

ネ) 外国人は本当に困ってやっていると感じるが、日本人は、今は自己中人が多い。甘え過ぎと思う。

B地域：ケ) 人それぞれ返していく事ができればいいと思う。

(3) 身近な問題としての貧困

貧困を自分の身近な問題として考えたときには、どのようにとらえられるのであろうか。親戚や友人などの身近な「貧困にある人の存在」について(表8)は、「多少いる」が3~4割であり、

「いない」はC地域とA地域において高くなっている。さらに、より身近な「自分や自分の家族の貧困」について(表9)は、いずれの地域でも3割強が「貧困に近い」と回答しているが、A・C地域では「貧困と思わない」が5割を超え、B地域

では「貧困にある」が25%近くになっている。また、「貧困」と言う言葉を用いずに、帰属階層でたずねてみる(表10)と、A・B地域では4割弱が自らを「下」にあると回答し、C地域では「中の下」「中流」と回答する者が高くなっている。もちろん、「そのように分類されたくない」という意見も全ての地域を通して2割前後ある。

こうした「貧困」に対する認識は、自らの生活経験と関係があるのだろうか。具体的な生活における貧困の経験では(表11)、「ガス・電気・電話料金の滞納」「食費の不足」「子どもの学校諸経費の不払い」「クレジットカードの不払い」「経済的

表10 帰属階層

	A地域	B地域	C地域
上	1.6%	1.0%	2.4%
中の上	0.0%	0.0%	0.0%
中流	9.7%	3.0%	17.1%
中の下	19.4%	14.9%	24.4%
下	37.1%	37.6%	19.5%
そのように分類したくない	21.0%	26.7%	17.1%
わからない	9.7%	15.8%	17.1%
N. A.	1.6%	1.0%	2.4%
回答数	62	101	41

な理由による離婚」を経験しており、これらは前出の表7における生活面の貧困認識と重なっている項目が多い。

さらに、将来に対する貧困への心配では(表12)、「非常に心配」が3~4割、「少し心配」が4割弱と、7割以上の者が心配している。また、「貧困になったときの気持ち」では(表13)、「落ち込む」「みじめ」と感じると同時に「はい上がる努力をする」「わが子だけは何とかはい上がらせたい」

表8 身近な「貧困にある人々」の存在

	A地域	B地域	C地域
たくさんいる	4.8%	8.9%	9.8%
多少いる	33.9%	44.6%	34.1%
ほとんどいない	12.9%	15.8%	9.8%
いない	29.0%	17.8%	36.6%
わからない	19.4%	12.9%	9.8%
回答数	62	101	41

表9 自分と自分の家族の貧困

	A地域	B地域	C地域
「貧困にある」と思う	6.5%	24.8%	7.3%
「貧困」に近いと思う	32.3%	33.7%	34.1%
そう思わない	53.2%	32.7%	53.7%
わからない	6.5%	7.9%	4.9%
N. A.	1.6%	1.0%	0.0%
回答数	62	101	41

表12 将来的に自分や家族が「貧困になる」心配

	A地域	B地域	C地域
非常に心配している	43.5%	41.6%	31.7%
少し心配である	30.6%	37.6%	39.0%
あまり心配ではない	21.0%	17.8%	19.5%
まったく心配していない	4.8%	2.0%	9.8%
N. A.	0.0%	1.0%	0.0%
回答数	62	101	41

表11 貧困の経験

	A地域				B地域				C地域			
	経験した	経験していない	N. A.	回答数	経験した	経験していない	N. A.	回答数	経験した	経験していない	N. A.	回答数
ア) ガス・電気・電話料金の滞納	54.8%	38.7%	6.5%	62	67.3%	31.7%	1.0%	101	53.7%	41.5%	4.9%	41
イ) 金銭的理由で医療サービスが受けられなかった	29.0%	64.5%	6.5%	62	29.7%	67.3%	3.0%	101	17.1%	78.0%	4.9%	41
ウ) 十分な食べ物を買うお金がなかった	54.8%	38.7%	6.5%	62	60.4%	39.6%	0.0%	101	46.3%	48.8%	4.9%	41
エ) 住宅ローンの支払いが遅れた	19.4%	71.0%	9.7%	62	27.7%	70.3%	2.0%	101	22.0%	70.7%	7.3%	41
オ) 子どもの学校の経費が払えなかった	29.0%	64.5%	6.5%	62	51.5%	47.5%	1.0%	101	34.1%	61.0%	4.9%	41
カ) クレジットカードの支払いができなかった	56.5%	35.5%	8.1%	62	56.4%	42.6%	1.0%	101	36.6%	58.5%	4.9%	41
キ) アルコール・薬物中毒の問題	4.8%	88.7%	6.5%	62	9.9%	88.1%	2.0%	101	14.6%	80.5%	4.9%	41
ク) 犯罪の被害者となった	8.1%	83.9%	8.1%	62	14.9%	84.2%	1.0%	101	24.4%	70.7%	4.9%	41
ケ) 経済的な問題も原因となって離婚した	66.1%	27.4%	6.5%	62	63.4%	31.7%	5.0%	101	46.3%	48.8%	4.9%	41

と考えており、それは下記の自由回答にも表れている。

A地域：

- 健康でいればいくらでも仕事もでき、頑張れると思う。今、住んでる所は、生活保護をうけるのにもかかわらず、仕事も探す気がない人ばかり、健康なのに、腹が立つ！
- できる限り周りの助けを求める。
- はい上がりたい
- 私は公務員の家庭で育ち、自分自身教育を受けお金に困ることは殆どありませんでした。けれどバツ2になり、貯金も無く、これまでは立前だけ一人前で…こんな風にお金がなくなり、きっと今を学べと言うことだと、実感しました。
- 自分だけが不幸で皆と違う世界にいる。
- もちろん、はずかしくなるしやけになる。落ち込んだりするけど前を向いて変えなきゃ、自分が変われば人生は変わる！
- 生活保護を受けられずに餓死した親子の様にはなりたくないと思う。
- 心だけは前向きでいたいと思う。
- 子供は、何よりも大切、腹を痛めて産んだわが子ですから、幸せにしてあげたいです。
- 自分が努力することで、必ずその状況よりも良くなると信じています。
- 自分以外の人に頼る気持ちがあると貧困になると思います。
- 何の為に生きていかなければならないのかと思ったりする。
- 世界で病気になっても、貧困の国が多い。日本は貧困と思われるが、住み家や食糧などがあるので、幸せのほうだと思う。

- 子供のいる人に対しての周囲の理解が悪い。
- オ) について…でも、帰るような親元もなく、母子家庭である私のようなケースは、努力が報われることが少なく、自信も気力もなくなっていく。

B地域：

- がんばってほしい。
- お金のない情けない気持ち、つらさを小さい頃から知ってほしくない。
- 私自身、生活が苦しい時がありました。地面だけを見ていました。でも今は、太陽を見て前向きに生活しています。子供がいるからです。
- 心だけは貧しくなりたくない。
- 私は今、生活保護を受けていますが、今までにいたるまでは全部、自分の責任だと今は実感しています。
- 今現在より、生活が困らないようにしたい。
- 身体が働いて、健康に不安もなく、働ければ良い。
- 貧困は自分自身の心の持ち方。
- 努力が実らない世の中になりつつあると感じる。
- 貧困になったとしても、魂が輝いていれば良い方向につながると思っている。
- うつ病に悩んで、子供達の事がたまに貧困な気分になる（母子家庭のため）。
- 自分が子供の頃から家が貧しかったので、早く成人して独立して、その生活から抜け出したかったのに、思いかけず結婚した夫が急死して、子供たちと施設で生活保護を受けて、暮らすことになり、結局、貧乏から抜け出せないのかと

表 13 自分が貧困になったときの気持ち

	A地域					B地域					C地域				
	はい	いいえ	わからない	N. A.	回答数	はい	いいえ	わからない	N. A.	回答数	はい	いいえ	わからない	N. A.	回答数
ア) みじめで恥ずかしくなる	33.9%	53.2%	12.9%	0.0%	62	47.5%	34.7%	16.8%	1.0%	101	48.8%	39.0%	12.2%	0.0%	41
イ) やけになる	14.5%	59.7%	25.8%	0.0%	62	18.8%	59.4%	19.8%	2.0%	101	9.8%	56.1%	34.1%	0.0%	41
ウ) 精神的に落ち込む	67.7%	19.4%	12.9%	0.0%	62	73.3%	14.9%	9.9%	2.0%	101	68.3%	26.8%	4.9%	0.0%	41
エ) 社会をうらむようになる	19.4%	61.3%	19.4%	0.0%	62	18.8%	48.5%	29.7%	3.0%	101	19.5%	56.1%	24.4%	0.0%	41
オ) あきらめずには、はい上がる努力をする	75.8%	6.5%	17.7%	0.0%	62	68.3%	5.0%	24.8%	2.0%	101	87.8%	2.4%	9.8%	0.0%	41
カ) わが子だけは何とかはい上がらせたいと思う	83.9%	4.8%	8.1%	3.2%	62	87.1%	4.0%	7.9%	1.0%	101	85.4%	4.9%	9.8%	0.0%	41

少々憤っている。だが、子供達に「貧困」からの脱却の希望を持っている。

- ・母子家庭なので、私が死んだ後、子供達が自立できるかどうか、とても心配しています。
- ・母子の援助金が足りず、貯蓄もできず、子供のために将来のために…と思う気持ちが暗い。慰謝料をもらっていない。
- ・前年度の収入で児童扶養手当が低くなり、失業中の身で、とても困っています。
- ・老後が不安になる。
- ・生きる事ができるのなら、貧困になっても、生きる力を出したい。自殺はしたくない。
- ・どんな時もプラス志向で考えていきたい。
- ・周りに左右されず、子供には生きてほしいです。どんな時にも前向きに、わが子にはいてほしい。
- ・じっと耐えしのぐしかない。何とか安定した生活になるよう努力する。
- ・多分、年老いてからの方が貧困というものを強く感じると思う。仕事なども年齢とかで切られてしまう場合も多く、資格もない者にとってはつらい。
- ・心の豊かさが一番大事なことは、わかりきっていますが、社会がこの先もドンドン不景気になっていく以上「貧しく美しく…」なんて言ってもらえない世の中に突入しつつあると感じています。
- ・考えるのをあきらめてしまうかもしれない。
- ・努力をすべき。
- ・気持ちだけは貧しくないと思っている、結局は金銭的な面で貧困だと落ち込むことがある。
- ・同じ貧困な生活をしていても、うそをついて努力もせず、生活保護を受けて、遊んでぜいたくしている人がいる社会はおかしいと思う。
- ・はい上がろうとしている努力が、少しでも実れば、あきらめずに生きられると思うのですが…。

C地域：

- ・上を見る。無理にはい上がるのではなく、貧困の中にも自分の生きがいを見つける。
- ・最近落ち込むけど、自分のできることをやってみようと思う。

- ・行政に意見・相談する。
- ・生活保護を受けていないので、その人の気持はわからない。DVで避難してるので、人に目だたない様に生活をするのはやむを得ない。
- ・とにかく仕事（正社員）に就けるように就職活動をする。
- ・その時にならないと本当のところはわからない。
- ・貧困とは、いろんな意味があると思うが、心の貧困にはなりたくない。

(4) 貧困の原因と貧困からの抜けだし

先の「貧困になったときの気持ち」にも、貧困からどのように抜け出すかについて記されていたが、そもそも貧困になる原因について、彼女たちはどのようにとらえているのであろうか。貧困の原因についての具体的な項目から選択してもらおうと(表14)、「社会福祉予算の少なさ」「解雇・失業」「地域産業の衰退」といった社会的要因と「先のことを考えない生活」「やる気・がんばり不足」などの個人的要因の両者でとらえており、さらには「社会の助け合いの不足」という共助のレベルでも貧困の原因を考えている。これらを総合的にたずねてみると(表15)、「社会的な不公平・不公正」が5～6割であり、最近の日本社会については、7割近くが「格差が広がっている」と見ている(表16)。

これらの結果は、貧困から抜け出す方法について(表17)も反映しており、「やり直しのできる機会の提供」といった公的な施策と、個人的な「がんばり・努力」との両方が支持されている。同様に「貧困のない(減らす)社会」のための責任の所在でも、「貧困当事者」に責任を帰する一方で、「政府などの公的機関」「企業」「労働組合」などが責任を持つべきであると考え、「他の人や社会が関わるべきではない」とは「思わない」が7～8割と回答し、何らかの社会的な手だての必要性を感じている。

表 14 貧困になる要因

	A地域					B地域					C地域				
	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数
ア) 社会福祉予算が少ないため	51.6%	21.0%	25.8%	1.6%	62	49.5%	28.7%	20.8%	1.0%	101	51.2%	29.3%	14.6%	4.9%	41
イ) となり近所が無関心なため	25.8%	53.2%	17.7%	3.2%	62	24.8%	58.4%	14.9%	2.0%	101	17.1%	68.3%	14.6%	0.0%	41
ウ) 大きな病気やけがのため	32.3%	38.7%	25.8%	3.2%	62	37.6%	39.6%	19.8%	3.0%	101	43.9%	36.6%	19.5%	0.0%	41
エ) 家族のきずなが弱い	37.1%	45.2%	16.1%	1.6%	62	35.6%	45.5%	16.8%	2.0%	101	19.5%	68.3%	12.2%	0.0%	41
オ) 親から受け継ぐものがないため	16.1%	72.6%	9.7%	1.6%	62	22.8%	59.4%	15.8%	2.0%	101	14.6%	78.0%	7.3%	0.0%	41
カ) 社会の助け合いの不足のため	48.4%	25.8%	24.2%	1.6%	62	45.5%	42.6%	10.9%	1.0%	101	43.9%	31.7%	24.4%	0.0%	41
キ) アルコール中毒や薬物乱用のため	24.2%	38.7%	33.9%	3.2%	62	24.8%	44.6%	27.7%	3.0%	101	29.3%	41.5%	29.3%	0.0%	41
ク) 解雇や長期失業のため	71.0%	8.1%	19.4%	1.6%	62	62.4%	19.8%	16.8%	1.0%	101	73.2%	19.5%	7.3%	0.0%	41
ケ) 地域の産業の衰退のため	56.5%	16.1%	25.8%	1.6%	62	57.4%	17.8%	21.8%	3.0%	101	48.8%	29.3%	22.0%	0.0%	41
コ) 先のことを考えない生活を送るため	74.2%	12.9%	11.3%	1.6%	62	58.4%	25.7%	14.9%	1.0%	101	68.3%	19.5%	12.2%	0.0%	41
サ) 十分な教育を受けていないため	27.4%	53.2%	17.7%	1.6%	62	18.8%	60.4%	19.8%	1.0%	101	22.0%	65.9%	12.2%	0.0%	41
シ) やる気のなさや頑張り不足のため	53.2%	27.4%	17.7%	1.6%	62	58.4%	26.7%	12.9%	2.0%	101	63.4%	29.3%	7.3%	0.0%	41
ス) その家に、子どもが多い	12.9%	72.6%	12.9%	1.6%	62	12.9%	65.3%	19.8%	2.0%	101	12.2%	75.6%	12.2%	0.0%	41
セ) 外国人の不法滞在による	17.7%	54.8%	27.4%	0.0%	62	12.9%	51.5%	34.7%	1.0%	101	12.2%	53.7%	34.1%	0.0%	41

◎表 14 の「その他」の回答

A地域：

- ・犯罪があるため。
- ・物価、税金の上昇、給与低下のため。
- ・自分勝手、人をうらむ心があるから。
- ・本人のとらえ方ひとつだと思う。
- ・少子化といいつつも女性の再就職が困難。3人以上子供のいる家庭の支援不足。
- ・でも本当の意見は、子供が育つ環境がひどい状況にあるのが、全ての要因だと思います。家庭が機能しなく、愛にもお金にも恵まれなかった子供達は、大きくなって困難にぶつかった時、本当の意味での解決の仕方がうまくできません。困難に負けたまま、それが自分が親の立場になった時に、やはりきちんと機能する家庭を作り出せず、子供に影響する。そうやって続いていく鎖は、解決が本当に難しい。
- ・私も私の母親も、貧困を抜け出すために人の倍以上働いても、無理が重くて体をこわすだけでした。

B地域：

- ・ニートが多過ぎる、団塊の世代の親が子供を甘やかした為（団塊の世代の子供がニートだから）。
- ・自分自身への甘え、まわりへの甘え。
- ・利己的な、または、あまりに自由を間違えてる人々が多くなってる気がする。
- ・人間のレベル（精神）の低下によるものと思う。
- ・その人の生まれ、地域、個人の家庭環境によるもの（運）や、その後の人生経過（生き方・価値観の持ち方・運命）によるものだと思う。
- ・生活が贅沢になり質素な生活している人を普通でないといけず、また見栄をはる。
- ・税金など収入が少なくても支払いが多いので生活するのに負担に感じる。逆に高収入の人はうまく支払いを少なくしているように思う。
- ・貧困とは、日本より国外の国々の問題では？ 食べ物不作、ワクチンの不足の事では？
- ・節約を「命」みたいにしてるのは、ますます景気を悪化させると思う。でも少ない収入で間に合わせる為には節約は絶対必要だし…?! お金を使うために稼ぐ、稼ぐから使える、使ってくれるから景気が良くなる…という風になりたいが稼ぐ場がない。あったとしても短時間しか雇ってもらえない…。何かいい「しくみ」はないものだろうか悩んでしまいます。
- ・いい仕事にあたらぬ。
- ・すべて自分の考え方ひとつだと思う。

C地域：

- ・一生懸命仕事をしたくても、子供がいると限度がある。その中で、時間ギリギリまで仕事をして給料が増えても引かれる金額も大きくなる。この世の中、この社会はもうからないようになっていく。けっしてぜいたくがしたいわけでもない。少し余裕のある生活がしたい。

表 15 貧困の総合的な要因

	A地域	B地域	C地域
その人が不運だったから	4.8%	8.9%	4.9%
その人の頑張りが足りなかったから	17.7%	22.8%	17.1%
社会にたくさんの不公平・不正があるから	61.3%	48.5%	58.5%
経済発展に伴う避けられない現象だから	12.9%	17.8%	14.6%
N. A.	3.2%	2.0%	4.9%
回答数	62	101	41

表 16 最近の日本社会について

	A地域	B地域	C地域
格差が広がっている	71.0%	69.3%	68.3%
格差が小さくなっている	4.8%	2.0%	9.8%
どちらともいえない	21.0%	26.7%	22.0%
N. A.	3.2%	2.0%	0.0%
回答数	62	101	41

表 17 貧困から抜け出す方法

	A地域					B地域					C地域				
	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数
ア) 結局はその人の頑張りなどの努力が「貧困から抜け出す」方法だ	56.5%	24.2%	16.1%	3.2%	62	53.5%	27.7%	17.8%	1.0%	101	70.7%	14.6%	12.2%	2.4%	41
イ) 結局はその家族や親族が助ける以外に方法はない	11.3%	69.4%	16.1%	3.2%	62	11.9%	69.3%	15.8%	3.0%	101	14.6%	70.7%	12.2%	2.4%	41
ウ) もっとやり直しのできる機会を増やすこと	74.2%	17.7%	8.1%	0.0%	62	53.5%	14.9%	30.7%	1.0%	101	65.9%	17.1%	14.6%	2.4%	41

表 18 「貧困のない社会」「貧困を減らす社会」のための責任の所在

	A地域					B地域					C地域				
	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数	そう思う	そうは思わない	わからない	N. A.	回答数
ア) 国、都道府県、市町村などの公的機関	95.2%	3.2%	1.6%	0.0%	62	88.1%	5.0%	5.9%	1.0%	101	85.4%	2.4%	9.8%	2.4%	41
イ) ボランティア団体	29.0%	46.8%	22.6%	1.6%	62	19.8%	56.4%	21.8%	2.0%	101	12.2%	43.9%	41.5%	2.4%	41
ウ) 企業・会社	74.2%	12.9%	11.3%	1.6%	62	67.3%	18.8%	12.9%	1.0%	101	61.0%	12.2%	24.4%	2.4%	41
エ) 労働組合	50.0%	19.4%	29.0%	1.6%	62	45.5%	25.7%	26.7%	2.0%	101	43.9%	24.4%	29.3%	2.4%	41
オ) 宗教団体	9.7%	72.6%	16.1%	1.6%	62	7.9%	72.3%	18.8%	1.0%	101	9.8%	63.4%	24.4%	2.4%	41
カ) 「貧困にある」当事者本人	71.0%	14.5%	12.9%	1.6%	62	68.3%	8.9%	20.8%	2.0%	101	63.4%	9.8%	24.4%	2.4%	41
キ) 他の人や社会が関わるべきでない	4.8%	83.9%	9.7%	1.6%	62	5.9%	77.2%	15.8%	1.0%	101	2.4%	68.3%	24.4%	4.9%	41

(5) 生活保護制度の評価

「貧困」に対する原因についても手だてについても、社会的な要因と個人的な要因の両者でとらえられていたが、貧困に対する公的なセイフティネットとしての生活保護制度をめぐるのは、評価が異なっている。生活保護制度の認識について(表 19) は、生活保護という「言葉」も「その内容」も、「よく」あるいは「ある程度」知っている者は、A・B地域で8割、C地域でも6割おり、その認知度は高い。さらに、生活保護制度に対する評価(表 20) は、「自立と依存の両者を助長している」

と考えている者が3～4割強、「依存を助長している」が2～4割で、「効果がある」と考えている者は2割を切っている。特にその評価は、生活保護制度の「利用者」への厳しい評価となっている。表 21 にあるように、「必要なのに利用できない人が多い」という漏救や、「必要でないのに利用している人が多い」という濫救について同意する者がいずれの地域でも7割近く、さらに、生活保護受給者への苦情は自由記述において多く書かれており、それは、この問いに限らずに他の問いにおいても、その記述が散見された。

表 19 「生活保護制度」の存在

	A地域	B地域	C地域
ことばも内容もよく知っている	33.9%	32.7%	31.7%
ことばも内容もある程度知っている	48.4%	45.5%	29.3%
内容はほとんど知らないがことばは知っている	14.5%	15.8%	34.1%
まったく知らない	1.6%	4.0%	2.4%
N. A.	1.6%	2.0%	2.4%
回答数	62	101	41

表 20 生活保護制度の「自立」への効果

	A地域	B地域	C地域
効果がある制度だ	19.4%	18.8%	17.1%
依存精神を助長している制度だ	21.0%	20.8%	39.0%
効果と同時に依存精神も助長している制度だ	45.2%	32.7%	29.3%
わからない	14.5%	23.8%	12.2%
N. A.	0.0%	4.0%	2.4%
回答数	62	101	41

A地域：

- ・生活保護って本当にそのような人に与えているものなのか。そのものを甘んじてきちんと生活してない人が多いのではないのでしょうか？
- ・自分は自立のために生活に足りない分を保護してもらっているが、仕事もせずに保護にすべて頼っている人もいっぱいいると思う。

B地域：

- ・例えばいつ何時どうなるかわからない病気をかかえて保険も入れない状況にいた時、頼るのは生活保護だと思う。

(6) 「貧困観」調査について

最後に、「貧困観」を問いかけるという、このアンケートに対する評価をたずねると(表 22)、B・C地域では7割近く、A地域でも5割近くが、貧困という言葉に「違和感」を感じており、未だ「貧困」という言葉が一般には定着していないと思われる。特に、B・C地域は、A地域よりも実施時期が半年遅く、その間、表紙に「貧困」という言葉が使われている書物も立て続けに出版されているが、「格差社会」のように「貧困」という言葉は浸透していないようである。それは、下記の自

由記述にもあるように、「貧困」が絶対的貧困と相対的貧困とによって、また物質的・精神的貧困によって、個々人の把握する対象が異なり、さらに個々人が抱く価値観や評価も相まって「貧困」という言葉を身近な用語から遠ざけているのであろう。

自由記述を改めて読み返すと、「貧困観」という調査の困難さと慎重さを痛感すると共に、だからこそ、研究と実践を繋ぐべく、こうした調査の重要性を再認識させられる。

◎ 「貧困観」調査に対する自由回答

A地域：

- ・貧困で何ですか？ 心の問題ではないですか？ 私より生活保護をうけてる人の方が、お金を何もしてないのに多くもらっています。でも私は体が健康なうちは絶対に受けたくないです。今、住んでる所は、23件ぐらい母子家庭の人がいます。そのうち、生活保護を受けず、仕事をしている母親はたった4件しかいません。保護を受けてる人は、1日中、人の悪口を言ったりして過ごしてます。子供も、夜遅くまで起こしたりで、学校に遅刻するのは、当たり前！ こんな人達に保護をうけさせてもいいのか？ 本当に疑問です。母子家庭で、頑張ってる仕事をしてる人にもっとまわしてほしいです。もっともっと大変な人が多くいると思います。
- ・日本社会では、経済的に困ってる人は多々いますが、外国諸国を見たり、聞いたりして、貧困のイメージが強く感じるのは、戦争のある国、内乱のある国に住んでる人々だと思っているので、日本人の中で貧困は結びにくい。外国の人々は、避けがたい事情で貧困になる場合が多いが、日本の社会では、まだガンバレるはずです。
- ・お金がないだけが、貧困ではないと思う。現代において、心の「貧困」と思われる事が多いと感じる。
- ・私の会社に生活保護を受け、お給料日前や支給日前に人から、お金を借りる人がいます。お金の使い方が、私たちと違います。お金が入ると、外食をし、コンビニで弁当を買い、外にお酒を

表 21 生活保護制度の利用について

	A地域					B地域					C地域				
	はい	いいえ	わからない	N. A.	回答数	はい	いいえ	わからない	N. A.	回答数	はい	いいえ	わからない	N. A.	回答数
ア) 必要な人々に利用されている	37.1%	40.3%	21.0%	1.6%	62	29.7%	35.6%	25.7%	8.9%	101	34.1%	43.9%	19.5%	2.4%	41
イ) 必要なのに利用できない人が多い	71.0%	3.2%	25.8%	0.0%	62	67.3%	5.9%	19.8%	6.9%	101	63.4%	14.6%	17.1%	4.9%	41
ウ) 必要でないのに利用している人が多い	62.9%	8.1%	25.8%	3.2%	62	63.4%	4.0%	25.7%	6.9%	101	68.3%	2.4%	24.4%	4.9%	41

A地域：

- 生活保護制度→もっと支給後を厳しくすべきで、生活内容によっては打ち切るべき、最低限の生活どころか、とても裕福というか物を全く大切にしていない人ばかりいます（簡単に買って簡単に捨てる）。3人の子供がいて、保護を受けているが、子供達は1人1台ゲーム機を持ち、親はパチンコ、ゲームセンターと遊んでいる人。一方、子供が命を掛けている病気で入院中な為、一人親の母は働けず、保護の申請をしたが、断られ「子供が死んだら保険金が入るのでは」と言われ泣き崩れた友人もいます。

B地域：

- 現に保護費をもらったその日にパチンコへ行く人をよく見る。

表 22 「貧困」ということばへの違和感

	A地域	B地域	C地域
感じた	48.4%	59.4%	70.7%
感じなかった	40.3%	39.6%	24.4%
N. A.	11.3%	1.0%	4.9%
回答数	62	101	41

飲みに行きます。貧しい人は、今の世の中たくさんいるにはいると思いますが、本当に困っている人は少ないような気がします。

- 違和感とか、そういうものよりも、自分の過去や、現状の報われない部分のことを、再度思い出したり、目を向けてこのアンケートに回答しなければならなく、最後はどんどん疲れてきました。決して、良い回答はできなかつたと思いますが、少しでもお役に立てれば、幸いです。私自身、もともと大学へ進学したかったのですが、親にはそのような経済力も気持ちの余裕もなく、進学は断念して高卒で就職をしました。
- 何に対しての貧困かがよく分からなかつた（自分か、誰かにか、対象がなかつたので、漠然としているというか…）。
- 心の貧しい人が多い社会に思います。
- アンケートを出している人たちの考え方として、貧困というものをどのように思い、このような調査をするのか、改善するためだと思いま

すが、これをもとに、毎年やられているのかわかりませんが、少しずつ改善されているのか疑問です。人の思いはそれぞれ。お金の貧しくてもそれを貧困と思わない、お金が豊かにあっても貧しい心がどこにあるかわからない。心の貧困のほうが日本でも重傷だと思います。TVで見ると、心の貧しさが、子供が親を、親が子供を、他のものが人の命をなんとも思っていない。お金ばかりか、もっと環境や精神的な教育を…学歴社会もどうかと考えます。

- 貧困という言葉に嫌悪感のようなものを覚えた。
- お金がなくて貧しい事なのか、心が貧しいことなのか？心が貧しい人は、多くいると思います。ばれなかつたら、何をしてもいいというこの世の中になっていると思います。政治家、官僚絶対許せないです。
- 精神的貧困と経済的貧困がある様に思え、答えづらい部分がありました。
- とても考えさせられるアンケートでした。貧困と一言で言い表す事が難しいと思いました。お金がない事で、食事が十分にとれない事が貧困なのか？いつもイライラして心にゆとりがない事が貧困なのか？私は自分自身が幸せと感じる事ができる人間こそが、貧困ではないと思います。その幸せを人の為祈ってあげることが、

できる人、人の為に一緒に悩みを解決してあげることができれば貧困は減ると思います。

- 貧困ではなく、貧乏という言葉を使っている。
- 貧しいはわかる気がするが、貧困という、もっとすごいことの様に思えてそこまで自分の立場がいつていると思いたくないという気持ちになります（今、生活保護を受けています）。
- 私が貧困と聞いてイメージするのは、アフリカなどで満足に食事でもできず、適切な医療も受けられない人々だったので、学業・仕事などや社会生活についてに書かれている人の事も貧困というのか…と、違和感を感じました。
- 違和感というか、淋しさを感じた。たしかにわが家は、金銭的に裕福ではないが、心まで貧しくなるのはまっぴら！「貧困」という言葉に何か心の貧しさが響いて感じられた。
- 貧困とは今ではピンとこない。物にあふれている時代にお金は無くても気持ちの持ち方次第。強いて貧しいを言葉にするのなら、「生活苦」ではないだろうか？日々の生活に苦しみながらも保護や手当でなんとか過ごしていける。豊かさを求めればきりが無い。今を生きる事に、ホームレスだって母子父子家庭も必死。このアンケートをいわゆる一般家庭にも出しているのか？が引っかかる点ですが、「貧乏しても、心はにじき」の私と「一般家庭」で心無い生活を送る人でどちらが「貧」かと考えたなら、私は迷わず後者と答えます。
- 言葉のひびきがイヤ。みじめに感じた。
- 事情によって生じた一時的なものも貧困と言うのか。又は精神的なものがダメージを受けた状態も貧困と言うのか？どの程度を貧困というのかよくわからない。アンケートの趣旨がよくわからない。どこまで自分が貧困だと感じればいいのかわからない。

B地域：

- 貧困とは、貧困であるかどうかは、本人が決める事だと思う。
- 今の自分自身が貧困だから、アンケートを書いて悲しい思いをしながら書きました。本当につらいです。死んだ方がいいのかなと思うときがあります。このアンケートの結果がでたら貧困の人も幸せになれるのですか。
- 今現在、私、生活は苦しいです。働いていません。私一人で子供2人を育てています。死んでしまいたいと思、生活は苦しく、でも子は宝です。私には子供しか支えがないです。苦しくても毎日、楽しく暮らしています。
- こんな施設に入居している人にアンケートとは、バカにしているのですか？ 不愉快です。日本人が一般に持つ意見ではなく、入居者では意見に偏りが出ると思います。一部の下層の意見が聞きたいのですね。バカにしてくれてありがとうございます。そんなに貧困が知りたいなら、母子家庭で月10万、3人という状況で生活なされたら貧困という意味がおわかりになると思いますよ。
- 社会全体が乱れ、失業率も高い今の情勢の中、色々な問題が生じ、何を目指し、何を目標に生きるかと言う事、失業率が高いだけに国民全体が悩み抱える問題だと思います。社会は私達に大きな負担だけを抱かせ、自分達の益の為に行動しているのが現状ではないのでしょうか。私達国民の声に耳を傾けているのでしょうか。このような事でどれだけの人々が犠牲になり、貧困にあえいでいるか、理解しているのでしょうか。私は疑念を感じます。私自身、今、施設で生活をしているので、私は自身は貧困だと思っています。
- 貧困とは、お金だけの事ですか？
- なぜ、このアンケートが私に来たのかよく分からない。確かに暮らしは大変だが、自分が「貧困」と言われているようで、あまり良い気分ではない。アンケートに答えることによって、私のような母子世帯が1日でも早く、少しでも生活が楽になればとの思いで、回答しました。
- 自分の事を書くので、どんどんみじめになってしまう。子育てしながら母親一人の収入で生活するのは大変です。自分はんばっているのに生活は楽にならず、子供が大きくなるにつれ、

学費などにも悩んでしまう。子供をおいて夜働くのは施設の規則で認められていないので、生活は楽にならず、アパートをかりて住むお金も貯金もない。今の私は貧困だと思う。

- なんかわからないが、いい感じがしなかった。
- 貧困は、人それぞれですよ。何でこのテーマなんですか？ 25年前、30円のアイスが買えない時代を過ごした長女は、今は立派に看護婦をしています。その時代をこしたから貧困なんて思わないと言ってくれています。私も12年前に離婚し、5人の子供育ててきました。あと少し下が中1あと5年頑張っていく事になります。あとは自由、自分の時間です。お金なくても親子との「絆」でしょうか？
- 貧困かどうかは自分が感じる事、人から決められることでもなんでもない。そういうカタにはめて考えてしまったら、幸せに暮らせてると思っていたのに、自分は不幸なんだと考えるようになってしまう。貧困かどうかより、平等に社会がきちんと現実を見て、働いてほしい。そして貧困ではなく、困ってる人、不便を感じてる人を助けてほしい。
- 感じなかった人の意見も聞いてほしいと思います。ただ○と×だけつけて送れといわれてる様で。もっと気分良く協力したかったと思います。だって私は何の関係も無いんですから…。施設の方が「せっかく送られてきたんだから書きなさい。」と圧力をかけました。私は断ったりできない。これが貧困だと思います。たくさんアンケートに無料で答えております。
- 貧困というものが、人間の心に対して感じる可否かは、その人の今の人間的レベル、魂の純度(輝き)によるものと思う。お金が無くても苦しい生活でも etc.。心が平和でレベルが高い波長なら貧困であろうが、なかろうがどうでも良い事である。
- 「貧困」という言葉があまりにも抽象的すぎて戸惑ってしまった。一概に何と言えればいいのか…。身近にある言葉とは思にくい位、現代では使われていない気がします。経済的貧困では、ニ-

ト、ホームレス、放浪者。精神的貧困では、精神衰弱、精神異常、精神遅滞などという言葉で表現されているからでしょうか？とても興味深い調査でした。このような回答が、これからの社会制度などに大いに影響してほしいと思います。自分の意識を高める意味でも勉強になりました。ありがとうございました。

追記…「貧困」というものを社会資源の利用度合いによって決める事はかなり無理がある位、この制度を上手に利用して楽に生活をしている人がかなりいます。たとえば、生活保護の場合…働かなくてもお金を貰えるから、働くのはバカバカしいと生活保護を申請し、受給し、毎日外食、ヴィトンのバックを数々…派手な洋服を着ている人。親名義の車を所持し、通勤、レジャーに利用している人。この場合、資格というものが何もないので、社会で働くとするフルに働いても生保の方の額が高く、真面目に働くのは無駄だと思うと言っていましたけど。こういう方々、私の周りに沢山います。税金でたべさせてもらっているという事を分かっているのでしょうか？と思う位。だからこういう手段を使っている人を貧困とは、とても言えないです。このテーマに関しては個人の価値観がかなり影響すると思いますので、一個人の意見として聞いてください。つまらない事を書いてすみません。読んでいただいてありがとうございました。

- 自分は貧しいと思うけれど、それが必ずしも他に比べて「劣っている」とか「恥ずかしい」と思って生活はしていない。子供に対しては、自分の健康状態をきちんと話し、パートでしか生活できないので他の子のように好きなものを好きなだけ買う事はできないと話しています。1番に食べる事、2番に着ることを最後にまんが本やおもちゃの順であることを常に話しています。お金があつて何でも買える事が人にとって特に子供にとって良いこととは思わないので、自分は貧しいなりに楽しく過ごしていると思う。
- 今現在、生活保護を受けています。うつ病にな

り、仕事ができなくなり、治るまで自立できるまで、生保を必要としている。生保は貧困に思うが、自立する為であり…それまでであり…、でも子供には生保の事は言えません。なんと行って説明できません。はっきりいって恥ずかしい生活しているのでしょうか？わかりません。自立したいです。うつ病を治したいです。

- 自分自身、貧困の定義がよくわからない。金銭面ではなく、気持ちの問題で貧困になると考えている。
- 衣食住のできない貧乏な生活はしたくない。
- 途上国など、集団として生活に困難を強いられている場合に「貧困」という言葉を思い浮かべますが、日本国内での個々たる金銭不足による困難に対しては「貧困」という言葉に適しているのかは考えさせられました。
- 人それぞれ貧困の具合は、受けとり方の違いがあると思う。
- 今の時代にあわないような気がします。
- よく分からない。
- アンケートにより自分を拒否されるかの様な不快な気持ちになった。現状から直視してのり切るのは自分自身で、親兄弟であろうともあてにならない(あてにしてはいけない)。自分自身プライドを持った生き方をしたいと思っているし、人様に何かを求める社会経済ではないのだから、もしもこのアンケートで結果出るとしたら、それはすばらしい事だし、結果報告を何らかの形で公表を望む。このアンケートは無意味に思うのだけど、プラスになる事があれば協力して良かったかもしれないと思うしかない。
- 「貧困」という言葉を聞かない。使わない。
- 生活上、貧困と言う言葉は、使用していない。しかし、同じ労働条件でありながら、契約社員(時給)で正社員よりしっかり働いているのに、収入が全然ない。違う。納得いかない。風邪をひくのが怖い。1日でも休めば収入が減る。児童扶養手当は、収入によって減額され、手当を受けても生活に当て、それでも足りない。母子寮に入居して、アパートすら借りられないのに、

出て行けと再三言われ、どうしたらいいのか、不安だらけ、一生懸命働いているのに…。子供を産まない方が良かったと落ち込む事がよくある。現在、色々な事件があるが、人ごとではない。

- 自分の中でピンボーとは思っていたが、気持は明るく持てたのに、そうか貧困に属するのか…。なんかすっごく暗くて、立ち直れそうもなく、みじめな気分でした。何かのお役に私の意見がたてたのなら、幸いです。お忙しい所、読んで下さりありがとうございます。楽天家なので、娘と2人で頑張って、貧しいながらも笑顔で生きていきたいと思います。
- 貧しくて困るというのは変。日本で貧しくて困っているなら、心が貧しい。貧しい時もあったけど、困っていた訳ではない。1日パン1個の時もあったけど、幸せでした。貧しいから得られるものって沢山あって、それを見ずに困ってしまうのは、心の問題で、もっともっと日本は人と人のふれあいや親子のあるべき姿、人間同士という考え方を見直して行けば貧困ではなく、「貧しい」についてか、「困っている」についてのように1つになることを願っています。
- 子どもが、生活が安定しないため、いつも不安・みじめ・さみしいなどの思いをしてきたので、申し訳ないいつも思っています。また、いつもお金持ちの家に産まれたらよかったといっています。でも親として私は、その思いを忘れないで自分が立派な親になればいいでしょう。今ほしい物を買えなくても大人になって働く様になったら買いなさいと何でもほしい物を手に入れるため、頑張ればいいでしょう。
- 意味が今ひとつよくわからない。
- 自分の中で持っている貧困とは全くではないが、ズレがあると思う。アンケートの中でも主旨がズレている部分も感じられた。
- 生活保護を受けて、「あなたはこれから最低生活するのだ」市役所の保護係の人に言われて、ちょっと恐ろしい不安感を持った。生活保護を受けるということは、そんなに社会的罪悪感を

持たなければいけないのでしょうか？私は福祉国家なんて言っても、何だか身の狭い感じがして、少しでも早く社会に出て、働くことができることを念じております。子供だって、今度私が離婚したということで、社会的にかわいそうとか、いろいろ言われております。私はこの日本国家に対して公務員の怠慢などいろいろ見してきました。結婚する相手を間違えて、こうして子供にも不自由な思いをかけております。どうぞ、この考えを持っている一人の国民が持っていることを、明記していただきたいと思います。

- ・物質的貧困、心の貧困、社会性貧困もろもろあるのだけれど、なによりも本人の心の持ち様と努力なのだろうか、ニュアンスの違いがあって、迷う事もあるが、世の中の理不尽が多すぎて社会の制度に憤りを感じてしまう。自分がいるその事が一番の貧困なのかもしれない。
- ・なぜ貧困なのか…。
- ・差別されている感じがする。気分が悪くなる。
- ・やはり普通に生活できる衣食住が少しでも良くなれば、貧困はなくなると思う。
- ・私自身、貧なので、そしてうつ病で、子供2人と私3人、食べてくので精一杯で国の生保で暮らさせてもらってますが、足りないくらいです。
- ・アンケートの中身は経済面、精神面両方における貧しさを言っているように思われましたが、「貧困」という言葉からは、私自身は経済的なイメージしか浮かびません。自分は精神面は豊かで、娘とふたり暮らしではありますが、幸福な方だと思っています。でも経済的にはドンジリ生活です。ただ、この先、娘の成長と共に経済的な理由でいろいろながまんを強いる事がたくさん出てくるだろうと思うとつらいものがあります。
- ・貧困という言葉、自分なりに考えはまとめられないが、お金そのものより人や物を愛する心が無くなった時、それが一番「貧困」という言葉があてはまるような気がする。
- ・人並みの生活がしたいが、しかし収入は少ないし、生活をつつましくやり、悩み、人には言え

ず毎日考える生活をしております。自分ではなさけないと思い、こんな生活をして、子供がどう思っているのか、考えるしだいです。

- ・物質的な貧困？精神的な貧困、考え方がいろいろあると思う。
- ・貧困は言い方を変えようが貧困なんです。それから抜け出そうと努力はしますが、体がそれについて行けず、入院も出来ず、毎日切り詰めての生活、一生貧困という言葉からは脱出できないと思っています。自分自身頭にくる言葉ではありませんね。
- ・あまり聞きたくない。
- ・貧困は決して金銭だけの問題ではなく、生き方、考え方を指すものと思います。法に隠れて生活保護を受けている人達を見る度に、何の為にその人達は生きているのか分からなくなります。社会に甘え、自分を甘やかすこの社会そのものが貧困なのではないでしょうか？失礼ですが、まるで現場を知らぬ役人のアンケートに感じてしまいました。

C地域：

- ・「貧困」は経済面だけでひとくくりにはできない言葉だと感じた。
- ・幸福の思い方である。他人と比較するものなのか。
- ・私は「自分は貧困だ」と思うその心がきらい。心の持ち方がきらい。自分は貧困ではない。人々より少し下なだけ。
- ・字のごとく、貧しく困っているというイメージがあり、人権差別のようにとらえられる。
- ・本当に困っている人達を助けてあげることのできるよう望みます。
- ・家族がたいへんな病気をした。それを家族が働いて支えていくのはあたりまえの事で貧困ではない。働いてそのお金で助ければいいこと。中卒でも勉強をして資格も持っている。自分の努力です。
- ・貧困と言う事が良くわからない。昔の戦後の様に食べる物が無く、着る物も無い様な事しかわからないので、今の時代（日本）ではどこまで

が貧困かがわからない。

- 貧困という意味、金銭的なものなのか？精神的なものも含まれているのか？具体的にわからないまま答えている部分がある。
- 貧困は、その人それぞれで感じ方が全く違うと思います。上をみたらきりが無いし、その人の生活によってお金の使い方が違うと思うので、人から見たら私たちの生活は貧困かもしれないですが、今は食べる物に困るとか電気代・ガス代がはらえる生活になってきたので、裕福とはいえないですが、幸せです。でも、本当に困った時に誰か助けてほしいと思います。
- 自分自身もっと強くなる必要があると感じた。今ある日本の貧困とベトナムなどの国との貧困と大きく違う事を感じた。
- はらたつ!!
- このアンケートもしかり、上から物を言われる程私達は下等ですか？
- 世の中の人々が貧困とかそういう言葉とか、差別的な言葉をいったり、偏見でものを見たりするから世の中おかしくなってきたり、生活保護にしても、もっといろいろと調べて制度を適用したりしたらよいと思う。なんか生活保護を受けたりしてる人は、何か楽をしてお金をもらっているようにしか受け取れないし、もっと仕事をしたりできるのではないかと思います。制度

を利用している人の方が、ハデな生活をしているように受け取れる（全部ではないと思うが）。もっと制度を見直してみる必要があると思う。

- 金銭面で貧困というのは、自分の体が健康であれば何とかなるものでは？！生保を受けている人の実態をちゃんと調べて欲しい。本当に大切なのは、心の貧困な人にならない事。
- 自分自身の立直り、頑張りが必要である。
- 私は母子家庭で子供と2人で生活しています。私は精神障害者です。精神障害の質問は、あまり聞いてほしくなかったです。精神障害者が貧困だと思う人がいるかもしれないと思うと、落ち込んでしまいました。精神病院に通っているだけで、周りからは、色んな目で見られることもあります。でも私は自分が貧困だと思ったことはありません。みじめだと思ったこともありません。人と同じようにはできないことは多いですが、今の自分にできることをやろうと思いつつながら、子供に支えてもらって、生活しています。私が思う「貧困」とは、やさしい気持ちの持てない人、お金では買えない大切な物がかけている人のことだと思います。私の意見が少しでもお役にたてればと思い、書かせていただきました。

(北海道大学大学院教育学研究科助教授)